



「クラブの良さを知ってほしい」と話す関さん



①



②



③

①皆で和気あいあいとカローリング②会員へのプレゼントも得意の手芸を生かして手作り③若草会は盛んな活動で平成29年に厚生労働大臣賞を受賞しました

キラッと輝く合志人

助け合えるつながり 誰かのためにになれる喜び

杉並台老人クラブ若草会会長 関 祐子さん（杉並台）

8月1日、関さんのもとに、全国老人クラブ連合会会長表彰の朗報が届いた。関さんは縫製工場を退職後、10年以上前から杉並台老人クラブ若草会の会長として、長くクラブを引っ張ってきた。

クラブの活動はさまざま。グラウンドゴルフや室内カーリングとして考案されたカローリングなどのスポーツ大会、会員の楽しみである旅行など。月に一度集まる月例会では、会員の誕生日会も行なっている。

「自分のペースで活動できる。同年代の人が集まるから、おしゃべりだけでも楽しいですよ」定期的に顔を合わせることでも、お互いの見守りの効果も出てきた。

年に2回程度、小学校で昔遊びや、関さんが仕事で培った得意のミシンを子どもたちに教えている。子どもたちからは「ありがとう」という声とともに、手作りのメダルをもらうこともある。ボランティアやクラブ活動など

どを始めたのには理由があった。「私は4人きょうだいの長女でした。病気がちだった母の代わりによく面倒を見ていましたね。そして病気の母を親切にお世話してくれたのが若草会でした」

誰かのことを思う熱い気持ちは若草会だけにとどまらない。県の老人クラブ連合会の副会長や、地域住民が自ら支えあう、ぽつかぽか杉並台などたくさん

「忙しくても続けられるのは誰かのお世話をするのが根っから好きだからですよ。大変なときも、出掛けて顔を見合わせば元気になるれます。それに周りの会員の助けもありますから」

目標は今以上にクラブを盛り上げていくこと。「気構えなくていい。ぜひ会員になって、例えば旅行だけでもいいから参加してほしいです。楽しく過ごしながら見守り合い、助け合う。それが子どもに、孫につながっていつてほしいです」

今日もクラブのために、誰かのために奔走する。



あなたの周りの**合志人**を探しています
企画課 企画広報班（合志庁舎） ☎248-1813

あなたの周りにいるキラッと輝く合志人を紹介してください。
自薦他薦は問いません。たくさんの紹介をお待ちしています。



人口……61,967 (+104)
世帯……24,266 (+ 41)

出生…64 (+ 6) 転入…224 (- 1)
死亡…37 (- 2) 転出…147 (-18)

※7月末現在 ()内は前月比

十数年前に4年間、広報紙を担当していました。戦争体験、ハンディキャップのある人の日常など、さまざまな特集を組み大変勉強になりました。毎月ギリギリまで見直して、出来るだけ良い紙面を作ろうと粘った結果、年末になると必ず発熱。お正月に皆がご馳走を食べるのを横目に一人で寝込んでいました。いろいろな思い出がありますが、年度途中で突然、副担当になるとは思っていませんでした。久々に取材や記事作成をしました。が、ゲラ刷りを見ると主担当によって大幅に修正されています。仕方がない、一昔前の担当なんてこんなものだと思いきや、やはり楽しいですね。

高野

今月から、一緒に広報をつくる担当が変わりました。以前も広報を担当していた先輩。いろいろ学んでいこうと思います。ちなみに前担当とけんかしたわけではありません。せつかなので前担当の話を。マンガミュージアムが1周年を迎え、マンガ祭りが行なわれました。(P10に掲載) 子どもたちが忍者とチャンバラ合戦をする中、なぜか子どもに混じって戦う前担当。取材に全力で臨む気持ちが表れた結果だと思ふことにしました。

小山

和顔愛語

